

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室きりり名古屋校		
○保護者評価実施期間	2024年11月11日		～ 2024年11月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	34名	(回答者数) 34名
○従業者評価実施期間	2024年11月11日		～ 2024年11月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	2024年12月24日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	幅の広い分野の職員がいる	保育士や教員などを経て入社した職員や大学で心理や保育を学んだ指導員がいる為、多角的な視点からプログラムを組み立てることができます。その為、療育においても学習支援においてもそれぞれに対応した職員がいる事で、幅広い支援を提供することができています。また在籍歴の長い職員が自身の経験をもとに他職員にアドバイスすることもできます。	現在担当制であるが、追加で入った際には担当以外の職員とも関わり、直接支援を通して、多角的な視点からお子さんの状況を検討できるように検討していきたいです。
2	運動やイベント、サーキットトレーニングなどを日頃から沢山提供している	本校はパーテーションやカーテンなどを使用して部屋を区切ったり、机の配置を自由に変わたりすることができます。その為、体を動かす活動やイベントなどその時の用途にあわせて最も適した配置を毎回検討しています。	新たな使い方(集団や何か広さを必要とする療育方法)を検討し、利用者様に提供できるようにしていきたいです。
3	手作りの教材、壁面飾りが多い	本校の特徴として手作り教材が多いことが挙げられます。その為、利用者様の抱える問題の課題解決に向けてオリジナルの教材で支援をさせて頂くことが可能です。また、教材だけでなく掲示なども季節ごとに毎回変更している為、そういった部分でも子供たちの興味関心を上げられるよう工夫しています。	玩具だけでなく、プリント教材等もオリジナルの物を作成し、利用者様の興味関心を引き立たせるような物を作成したいと考えています。また今後もそれぞれの年齢に適した教材を考えることができるように、困った時には事業所内で話し合っ進めることができるような環境づくりをさらに進めて行きたいです。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	集団療育をやっていない事	現在個別活動が主である為、集団療育を行うことはできていません。この要因には本校では個別療育を求めている保護者様・利用者様が多いことが挙げられます。また集団療育をするための利用者様の日程の調整も課題になっています。	職員間で集団療育のメリットなどについて考える機会を設けて、実現させていく為にはどうしたらよいか、他の校舎の例を参考にして、少しでも実現につながるような手段を考えたいです。
2	保護者同士の交流が少ない	要因として本校ではお勤めになっている保護者の方も多く、時間の都合が合わない為、保護者交流の機会を設けることが難しいことがあげられます。	保護者間交流に参加することで提供できるメリットを考えます。また保護者様からの希望を伺い、参加したいと思われる集まりの実現に向けて行きたいです。
3	情報・制度の周知不足	まずは職員自体の知識の不足が考えられます。また、何か発信したい情報がある時は、掲示をしていますが、それが上手く保護者様に伝わっていない可能性が考えられます。	各情報についてまず職員が理解を深めることができるように、職員内で再確認、再周知をします。また可能であれば事業所内で自主的な学習会を行う事も検討します。保護者様にはその都度、掲示、口頭、SNSなどを利用し周知を徹底していきます。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 子どものサポート教室きらり名古屋校

公表日 2025年 2月 15日

利用児童数 34人

回収数 34

		チェック項目	回答				ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	32	1		1	広いスペースを確保して頂いています。	今後も利用者様が伸び伸びと活動できるように努めてまいります。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	25	4		5	1対1で手厚く見て頂いています。	今後も継続して利用者様に楽しいと思ってもらえるようなプログラムの提供をしてまいります。
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	23	4		7 (※無回答2)	広い部屋を区切る形で分かりやすい環境になっていると思います。	今後も利用者様の安全確保に努めながら、継続してまいります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	34				子どもの過ごしやすい空間になっていると思います。	ありがとうございます。今後も継続してまいります。
適切 な 支 援 の 提 供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	29	3		2 (※無回答1)	子ども1人1人に合わせた支援をして頂いています。	今後も保護者様と情報共有させて頂きながら、毎回の支援を提供してまいります。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	28	2		4 (※無回答1)	そのように思います。	今後も継続してまいります。
	7	子どものことを十分に理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	33			1 (※無回答1)	面談等で聞き取りや普段の子どもの様子も見ながら計画を作成して頂いていると思います。	計画的にアセスメントをとり、個別支援計画を作成しています。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	32	1		1		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	32	1		1	そのように思います。	今後も継続してまいります。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	27	3		4 (※無回答2)	毎回内容を変えて楽しく取り組めるよう工夫して頂いています。	今後もお子さんが楽しいと思えるような時間となるよう工夫して支援を提供してまいります。
保 護 者 へ の 説 明 等	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	8	3	8	15 (※無回答4)	希望をしていません。	今後ご希望があれば検討させていただきます。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	34					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	32	1		1		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	18	1	3	12 (※無回答2)	研修会や保護者の方々との話しあいの場を設けて頂いています。	特に開催等はしていませんが、ご要望に応じて検討していきます。
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	32	1		1	毎回フィードバックして頂いています。	今後も保護者様と密に情報共有を行い、丁寧なフィードバックを心掛けて参ります。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	26	6		2		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	32			2	そのように思います。	今後も継続してまいります。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	9	6	5	14 (※無回答3)		
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	29			5 (※無回答2)	そのように思います。	今後も継続してまいります。

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	32	1	1	そのように思います。	今後も継続してまいります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	23	4	7 (※無回答2)	ラインやインスタで定期的に情報を発信して頂いています。	今後も定期的にお子様の様子を発信していきたいと思います。お時間ありましたらぜひご覧ください。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	31		3		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	32	1	1 (※無回答1)		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	33		1 (※無回答1)		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	32		1 (※無回答1)		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	27		7 (※無回答2)		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	34			子どもも親も安心して通所しています。	ありがとうございます。今後も継続してまいります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	31	3		勉強なので楽しみにしてはませんが先生と会話できるのは楽しいようです。楽しく通わせて頂いています。	利用者が楽しく通所して頂けるように、今後も職員一同努めてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	33	1		とても満足しています。いつもありがとうございます。	いつも本校の活動にご協力いただきありがとうございます。今後も利用者様にあったプログラムを検討し、提供してまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもサポート教室「きらり」名古屋校		公表日		2025年 2月 15日	
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。		○	
2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。		○		法令で必要とされる配置数を確保しています。	職員数は適切ですが、もう1人確保できると支援可能な時間（延長等）も検討できるかもしれません。	
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		○	○	カーテンやパーティション等でスペースを仕切り、個室で集中できるようにしています。	個室ではなくパーティションで区切ることもある為、時折隣の声が入ってしまうこともあります。	
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		○		毎朝決められた時間に清掃し、設備等の不具合もチェックし、清潔で心地よく過ごせる環境を心掛けています。	個室ではなくパーティションで区切ることもある為、時折隣の声が入ってしまうこともあります。	
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		○		必要に応じて個別の部屋を使用できるよう、部屋を確保しています。	特に問題はありません。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。		○	○	毎日ミーティングを実施し、職員全員が参加しています。	特に問題はありません。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		○		保護者様へ事業所評価アンケートを実施し、業務改善につなげています。	適宜問題が発生した場合は迅速に話し合い、対応していきます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		○		毎日のミーティング時や、その他適宜職員の意見等を把握する機会を設けており、業務改善につなげています。	特に問題はありません。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。			○	現在は利用者・社内の二者評価を取っております。第三者による外部評価は現在実施する予定はありませんが、必要に応じて実施を検討いたします。	第三者評価は行っていません。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。		○		初任者研修を始め、経験年数に応じた社内研修や、月に一度社内でのテーマ研修等を実施しております。	特に問題はありません。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		○	○	事業所HP内ブログ記事にて公表している他、事業所内で掲示しています。	社内事業所で公表方法を統一していきます。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。		○		計画期間ごとにアセスメントをとった上で個別支援計画を作成しています。	特に問題はありません。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。		○		計画期間ごとに行われるモニタリングを保育士、指導員にも共有しそこの意見を踏まえてそれを個別支援計画に反映しています。	特に問題はありません。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。		○		個別支援計画書は、全職員が閲覧できるようになっており、その計画に沿って支援計画を立てております。	特に問題はありません。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		○	○	社内のアセスメントシートを活用しながら、職員内で共通理解ができるよう、情報共有をしています。	日々更新される情報についてしっかりと把握・共有できるようにしていきたいです。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。		○		定期的に面談を行い、利用者様の状態と一緒に確認し、支援計画に基づき説明しています。	「地域支援・地域連携」に関しては具体的な活動が行っていません。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。		○	○	お子様の事例を共有し、議論するケース検討会を開催し、活動プログラムの立案を行っております。	個別支援が主となる為、個人で活動プログラムを立案することもあります。必要時には職員内で相談する機会も設けています。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。		○		常にお子様一人ひとりの特性や興味に合わせて、効果的に楽しく学べるプログラムになるよう工夫しています。	特に問題はありません。

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○	○	必要に応じて小集団支援を行うこともあります。	個別活動が主なため小集団等は現在実施していません。必要時には小集団の開催を検討していきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○	○	毎朝ミーティングを実施し、職員間での情報共有を行っています。ただ支援内容については各指導員で決めているので内容の確認は行っていません。	ミーティングは毎日行い情報共有に努めていますが、個別支援が主となる為、個人で活動プログラムを立案することもあります。必要時には職員内で相談する機会も設けています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○	○	翌日にミーティングを随時実施し、職員間での情報共有を行っています。	必要時には社内のチャットツールを利用し、情報共有を行っています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		毎回支援記録をとり、見直すことでお子様の成長や取り巻く環境の変化に合わせて、指導内容や方法を更新しています。	特に問題はありません。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		適切な時期にモニタリング、会議を行い、見直しの必要性を判断しています。	特に問題はありません。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○	○	4つの基本活動を毎回の支援で織り交ぜながら、支援を行っています。	個別で1時間が主のため、地域交流については行えていません。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		必要時にはいくつか選択肢を用意し、利用者様本人の意思で決定できるようにしています。	特に問題はありません。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		利用者様の状況をよく理解している担当指導員が会議に参加しています。	特に問題はありません。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○	○	必要時には関係機関との連携がとれる体制を整えています。	特に問題はありません。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○	○	必要に応じて、学校の先生やスクールカウンセラーのご要望にお応えする形で支援方法に関するご提案を行っています。	特に問題はありません。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○	○	相談支援事業所を通して情報を共有しています。	毎回行うことはできていませんが必要時には情報共有をしていきます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○	○	必要に応じて、連絡票などを用いて情報提供できる体制を整えています。	現在該当者はいません。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		○	専門機関と連携して担当者会議等で助言を受けています。	研修は受けてはいないので機会を設けたいです。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○	限られた支援時間の中での交流は難しいことから、地域交流は現在実施しておりません。	現状実施はしていません。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		○	児発管が主に参加しています。	情報共有の為、指導員の参加も検討していきたいです。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		毎回の支援終了時に保護者様へフィードバックの時間を設け、課題について保護者様と一緒に考えています。	特に問題はありません。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○	○	必要に応じて支援後のフィードバック時にご家庭での対応方法についてアドバイスをしています。	研修の機会は現状取り組むことができていません。適時必要な時には開催を検討していきます。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		運営規程、利用者負担等について、契約時に丁寧に説明するとともに、事業所内に重要書類を掲示しています。	特に問題はありません。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		放課後等デイサービス提供を作成する際、利用者様の最善の利益を考慮しつつ、本人、保護者様のご意向を確認する機会を設けています。	特に問題はありません。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者様から同意を得ています。	特に問題はありません。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		主に支援後のフィードバック時に相談に応じていますが、必要に応じて面談を行って助言させていただいております。	特に問題はありません。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○	業務の都合上現在は保護者会等は開催しておりませんが、ご要望に応じて検討していきます。	現状取り組むことができていません。今後必要があれば検討していきます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。		○	いただいた相談や申し入れに対しては、迅速かつ適切な対応を心掛けています。	特に問題はありません。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。		○	HPやSNS等を活用したり、校舎の掲示板や廊下等に活動内容やイベントのご案内を掲示したりして情報の発信をしています。	発信はしていますが周知が行き届いていない時があります。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。		○	個人情報が記載された書類等は鍵付きキャビネットに保管しています。また、個人情報にアクセスできる端末はパスワードを設定する等、適切な対応を行っています。	特に問題はありません。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。		○	利用者様、保護者様の状態に応じて、意思疎通や情報の伝達ができるように配慮しています。	特に問題はありません。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	個人情報等に配慮しつつ、指導の様子を公開しています。	招待する等は現状取り組むことができていません。今後必要があれば検討していきます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		○	各マニュアルを策定し、訓練を実施しています。	各訓練を実施することはできていますが、周知できていない時があります。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。		○	業務継続計画を策定し、訓練を実施しています。	特に問題はありません。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。		○	服薬やてんかん発作等の確認等確認し、職員内で情報を共有しています。	特に問題はありません。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○	対象のお子様については、指導時に該当物質との接触が起こらないように留意していきます。	通常食へ物は扱っていませんがイベントの際にお菓子を配布することもあるので、保護者様にはアンケートをとり、職員内で共有はしています。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。		○	安全計画を作成し、それによって安全管理をしています。	特に問題はありません。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		○	随時保護者様への了承を頂いた上で、お子様と一緒に防災訓練を実施しています。また避難経路等を校舎内に掲示しています。	取り組みについての周知ができていないことがあるので実施していきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。		○	ヒヤリハットが起こりそうな場所について職員間で話し、未然に防ぐよう留意しています。起こった際は報告書を作成・保管し、情報共有と対策を行っています。	特に問題はありません。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。		○	虐待防止のマニュアルを作成したり、職員全員で研修を受けたりして、虐待防止に努めています。	特に問題はありません。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。		○	身体拘束が必要な場合は個別支援計画に記載した上で説明、了承をいただきます。	特に問題はありません。	